



USB 2.0 Pocket Hard Drive

ポケット・ハードドライブ ユーザーズマニュアル

目次

安全上のご注意	1
同梱品の確認	4
はじめに	5
使用環境について	6
接続について	7
Macintosh 環境でご使用の場合	8
接続状態の確認	8
取り外しについて	9
Macintosh 環境でのフォーマット方法について	9
Windows 環境でご使用の場合	12
接続状態の確認	12
付属ソフトウェアについて	12
インストール方法	13
Toolkit の使い方 : Windows XP、2000	14
「Tools」メニューから実行可能な機能	16
「Security」メニューから実行可能な機能	19
「Help」メニューから参照可能な機能	22
Toolkit の使い方 : Windows Me、98 Second Edition	23
「Security」タブから実行可能な機能について	24
「Utilities」タブから実行可能な機能について	27
システムトレイのアイコンについて	29
取り外しについて	30
故障かな？と思ったら	31
仕様	33
Toolkit に関するお問い合わせについて	34

安全上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

■表示について

- ・この「安全上のご注意」では右のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、付属の説明書類をお読みください。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



- 内部に異物を入れないでください。
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。
故障、感電、火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



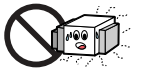
- 万一、異常が発生したとき。
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



- 分解／改造しないでください。
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



- ケーブル類を大切に。
USBケーブルは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電／火災の原因となります。



- 本体に物を乗せたり、本体の周りを物で囲ったり、暖房器具の近くに置かないでください。
内部温度が上昇し、火災・火傷・故障の原因となります。



- ビニール袋やブリスタパックなどの梱包材料は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
誤って口に入れたり、頭からかぶるなど思わぬ事故の恐れがあります。



- 雷が鳴るなど、電圧の状態が不安定なときには使用しないでください。
ハードディスク内のデータが消失したり、故障の原因となります。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



●本製品の稼動中にUSBケーブルを抜かないでください。データの損失や機器の故障の原因になります。

●高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



●浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近く、湿気の多い地下室、水泳プールの近くなどでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



●電源が入っている状態で本体に衝撃を与えないでください。
パソコンからアクセスを行っていない場合でも、ハードディスクドライブのヘッドはデータエリアにあります。
また、パソコンから取り外し、電源がOFFの状態になっても完全にハードディスクドライブが停止するまで、約30秒かかります。本体を移動する場合は、30秒以上経過してからにしてください。衝撃によりデータを破壊する恐れがあります。



●本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



●本製品を長期間使用しない場合は、USBケーブルをパソコンから外しておいてください。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

■ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使用することにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式(※)により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

※磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ (<http://www.logitec.co.jp>)をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。

(技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願い致します。)

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック株式会社 ロジテックサポートソリューション
データ消去サービス係 5番受入窓口
TEL: 0265-74-1423 / FAX: 0265-74-1403

本書で使用する略語について

Windows XP

Microsoft® Windows® XP Professional / Home Edition operating system を略して Windows XP と表記します。

Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional を略して Windows 2000 と表記します。

Windows Me

Microsoft® Windows® Millennium Edition を略して Windows Me と表記します。

Windows 98 Second Edition

Microsoft® Windows® 98 Second Edition を略して Windows 98 Second Edition と表記します。

Seagate 社

Seagate Technology LLC. を略して Seagate 社と表記します。

商標について

Seagate、Seagate Technology、シーゲイトまたはそのロゴは Seagate Technology LLC. の登録商標です。Microsoft®、Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での商標または登録商標です。Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名などは各社の商標または登録商標です。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での(海外に対してを含む)サービスおよび技術サポートを行っておりません。



ご注意

当社DOS/V対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

同梱品の確認

HDユニット 1台
HDユニット・ユーザズマニュアル 本書

保証書は本ユーザズマニュアル巻末に添付されています。
本製品は電子精密機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

はじめに

このたびはポケット・ハードドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
どうぞございます。

本製品は、コンパクトなデザインで耐衝撃性能に優れたUSB 2.0バスパワー駆動のストレージユニットです。本製品の主な特徴は以下の通りです。

製品の特徴

本体にUSB 2.0ケーブルが収納されたコンパクトなデザインは携帯性に優れ、持ち運びの際にとっても便利です。

本体内にWindows用の管理ソフト「Toolkit」が添付されていますので、いつでもどこでも大切な情報を持ち運んでご使用になれます。

「Toolkit」を使用すれば、ドライブ内を、誰にでもアクセスできる「パブリックゾーン」と設定した本人しかアクセスできないようにする「セキュリティゾーン」の2つに分けることができますので、用途や目的に応じた使い分けが可能です。

USB 2.0のバスパワーに対応し、電源はコンピュータのUSBポートから直接供給されますので電源ケーブルやACアダプタは必要ありません。

出荷時にはFAT32でフォーマットされた形になっておりますので、Windows環境、Macintosh環境ともにつないですぐにご使用になることも可能です。



本製品の容量表記に関するご注意

表記のストレージ容量は、オペレーティングシステムまたはそのソフトウェアのフォーマットを除いた、標準的な構成におけるものです。

使用環境について

対応パソコン

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini iMac (USB 2.0) iBook G4、iBook Power Mac G5 Power Mac G4 Power Mac G4 Cube Power Macintosh G3 (Blue and White) eMac PowerBook G4 PowerBook (FireWire) PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

いずれも、USB シリーズ A ポートを搭載し、USB ポートからの供給電力が規定条件 (+5V 500mA) を満たしている必要があります。

バスパワー電流が足りない場合は、使用できません。

USB 2.0 High-Speed 転送でご使用になる場合は、接続先のパソコンの USB ポートが USB 2.0 High-Speed に対応している必要があります。

対応 OS

マイクロソフト株式会社	Windows XP Professional / Home Edition Windows 2000 Professional Windows Me Windows 98 Second Edition (注 1)
アップルコンピュータ社	Mac OS X 10.1 ~ 10.3.8 まで (注 2) Mac OS 9.2.2 (注 3)

全て、日本語版の OS に限定されます。

注 1

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、接続の前に弊社ホームページより USB ドライバをダウンロードする必要があります。

注 2、注 3

Mac OS 10.1 ~ 10.1.5 および Mac OS 9.2.2 環境では USB 2.0 High-Speed 転送には対応しておりません。USB 1.1 Full-Speed での動作となります。

接続について

本製品をパソコンに接続する際は、本体に内蔵されている USB 2.0 ケーブルを引き出して直接パソコンの USB ポートへ接続してください。



ご注意

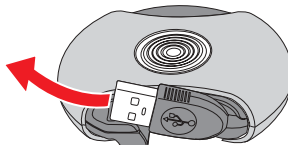
- Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、接続の前に、弊社ホームページより、本製品の USB ドライバをダウンロード後に、ご使用のパソコンにインストールする必要があります。

弊社ホームページアドレス : <http://www.logitech.co.jp/>

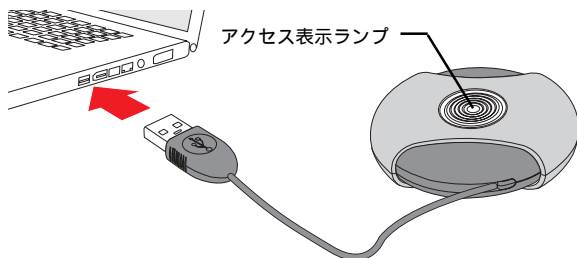
1. コネクタを軽く上に引き上げます。



2. ケーブルをゆっくりと引き出します。
あまり強い力で引き出すと接触不良の原因となりますので十分ご注意ください



3. ご使用のパソコンの USB ポートに接続すると、アクセス表示ランプが青色に数回点滅後、消灯します。(USB ポートの位置は、パソコンによって異なります。ご使用のパソコンの USB ポートの位置を確認して接続してください。)



この後のご使用方法は、OS により異なります。

Macintosh 環境でご使用の場合は「Macintosh 環境での使用方法」を
Windows 環境でご使用の場合は「Windows 環境での使用方法」を
それぞれご参照ください。



参考

パソコンによっては、バッテリー駆動時に USB バスの電源供給を行わない機種もあります。

Macintosh 環境でご使用の場合

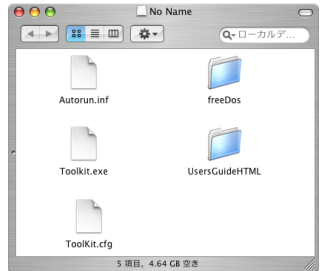
接続状態の確認

本製品を接続すると下の「リムーバブルディスク」のアイコンがデスクトップ上にマウントされます。

OS	Mac OS X の場合	Mac OS 9 の場合
マウントされるアイコン		

また、このリムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックして開くと以下のようなファイルが本体内に保存されています。

これらのファイルはMacintosh環境でご使用の際は必要のないものですが、Windows環境で付属のアプリケーションの機能を使用する場合に必要になります。



画面はMac OS Xの場合の例です

本製品はそのままでもご使用になれますが、以下にご説明する「フォーマット形式について」を十分にご確認のうえ、ご使用目的に適した形で使用することをお勧めします。

フォーマット形式について

本製品は出荷時に DOS (FAT32) 形式でフォーマットされていますので、Windows 環境でも Macintosh 環境でもアクセスすることができます。ファイルを移動するときなどに便利ですが、本製品を Macintosh のみでご使用になる場合は、なるべく Mac OS 環境に最適なフォーマット形式 HFS+ (Mac OS 拡張) で再フォーマットすることをお勧めします。

Windows 環境または、複数の OS でご使用になる場合は、DOS (FAT32) のままご使用ください。ただし、以下の点にご注意ください。

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。(Mac OS 10.1 ~ 10.1.5 は未対応です)

Macintosh 環境に接続したハードディスクを Windows 環境に再接続して、スキャンディスク (Windows 標準の検査ユーティリティ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh 間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

取り外しについて

1. 本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開かれていない事を確認する。
2. Mac OS Xの場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り出し」のアイコンに重ねてから、USBケーブルを外す。



参考：

「取り出し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。本製品などの取り外し可能な記憶装置を選択した場合に「取り出し」のアイコンに変化します。



Mac OS 9.2.2の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねてから、USBケーブルを外す。



Macintosh 環境でのフォーマット方法について

フォーマットを行うと、ハードディスク内のデータは全て消去され元に戻すことが不可能になります。本製品を再度Windows環境でもご使用になる場合は、付属アプリケーションのファイルをWindowsパソコンにバックアップしておくことをお勧めします。

Mac OS Xでのフォーマット手順

Mac OS Xでのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

ハードディスクのフォーマットにはMac OS X標準のフォーマットソフトウェア「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を使用します。

1. メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。

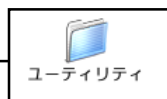
1. 選択

2. クリック



2. 「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。

ダブルクリック



3. ユーティリティの一覧の画面の中から「ディスクユーティリティ」アイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリック



ディスクユーティリティ

4. Mac OS Xの標準フォーマット「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

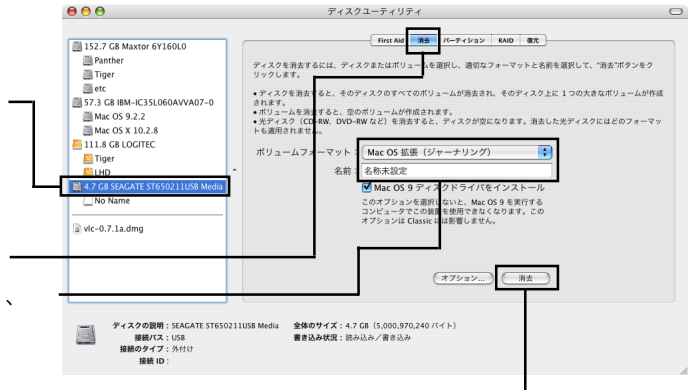
本製品のドライブ名(4.7 GB SEAGATE ST650211 USB Media)を選択

「消去」タブを選択

ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択

「名前」の欄に、本製品の名前を入力。(本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります)

「消去」ボタンをクリック



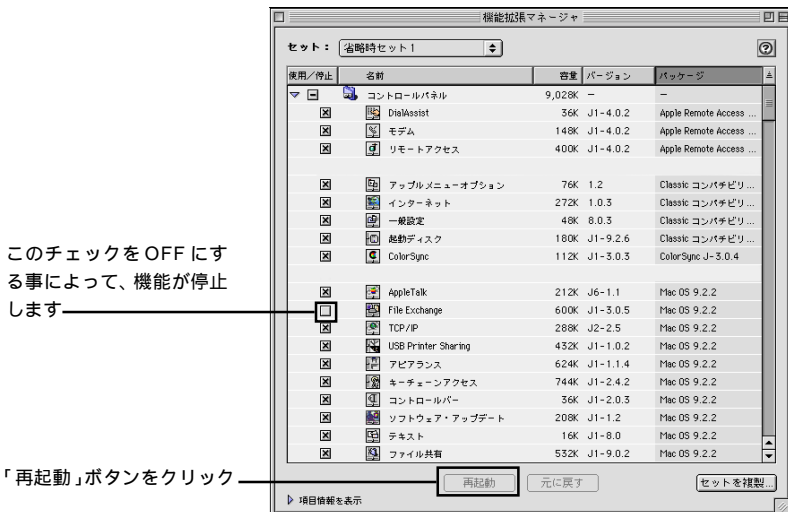
5. 確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

ポイント

- すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- フォーマットは「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- Mac OS 9 環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。ただし、このチェックボックスは Mac OS X のみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。
- Mac OS X 10.1 ~ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application」、 「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

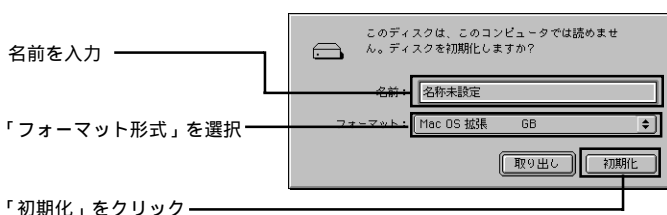
Mac OS 9 でのフォーマット手順

1. 「アップル」メニューから「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」して、コンピュータを再起動してください。



2. パソコンが再起動すると

「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、「初期化」ボタンをクリックします。「名前」を入力すると、本製品がデスクトップにマウントされる際、その名前が表示されるようになります。



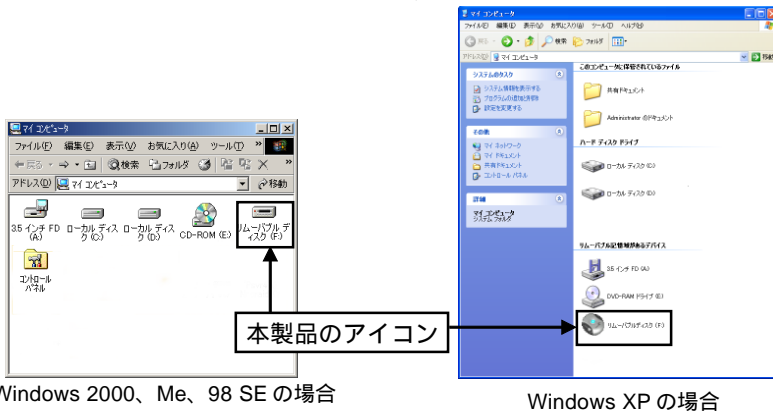
ポイント

- ・ フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。
- ・ デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、フォーマット形式の変更はできません。いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

Windows 環境でご使用の場合

接続状態の確認

本製品を接続するとマイコンピュータ上に「リムーバブルディスク」のアイコンが追加されます。この「リムーバブルディスク」が本製品のアイコンです。本製品へのアクセスやデータの保存などは全てこの「リムーバブルディスク」に対して行います。



追加されるドライブ名(アルファベットで表示されている部分)はご使用の環境により異なります。

付属ソフトウェアについて

本製品には、ディスクに対してさまざまな機能を付加するソフトウェア「Toolkit」が付属しています。Windows 環境での本製品の設定は全てこの「Toolkit」より行うことを前提としています。

「Toolkit」を使用すれば、パスワードで保護されたセキュリティ機能を持つパーティションを作成したり、ドライブに対して以下のような高度な機能を設定することができます。

- セキュリティのかかったパーティションのパスワード変更
- パーティションの管理
- ドライブのフォーマット
- ライトプロテクト設定
- 別のポケット・ハードドライブへのアクセス (Windows XP/2000 のみ)
- 工場出荷時の状態に戻す

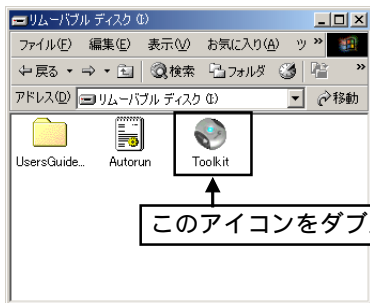
Windows XP、2000 環境で「Toolkit」をご使用になるには管理者権限のあるユーザーでシステムにログオンしている必要があります。

次ページ以降では、このソフトウェアのインストール方法、使用方法についてご説明いたします。

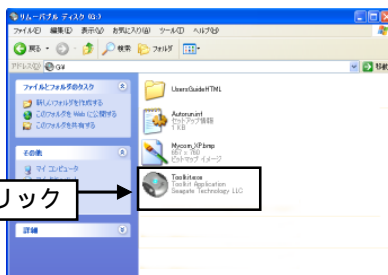
Toolkit に関するお問い合わせはロジテックテクニカルサポートまたは日本シーゲイト社にお問い合わせください。お問合せ先については「Toolkit に関するお問い合わせについて」または、本書巻末をご参照ください。

インストール方法

本製品のアイコンをダブルクリックして開くと、下のような画面が表示されます。これらのファイルの一覧の中から「Toolkit (exe)」ファイルをダブルクリックしてください



Windows 2000、Me、98 SE の場合

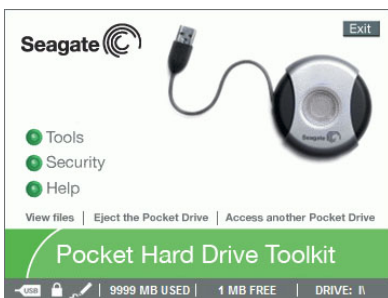


Windows XP の場合

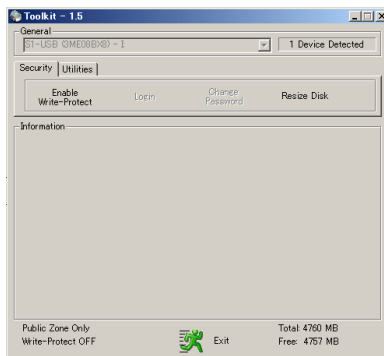
付属ソフトウェアをインストールしなくても、本製品をそのまま取り外し可能なハードディスクとして使用することもできます。ただし、ソフトウェアをインストールせずに削除してしまった場合は、それ以降ソフトウェアをインストールできなくなりますのでご注意ください。

「Install Seagate Pocket Drive toolkit application ?」という確認のメッセージボックスが表示されます。「OK」をクリックしてください。

Toolkitが自動的にシステムにインストールされ、アプリケーションが起動します。アプリケーションの使用方法は、Windows XP , 2000、Windows Me , 98 SE で異なります。この後に順番に使用方法をご説明いたしますので、該当の部分をお読みください。



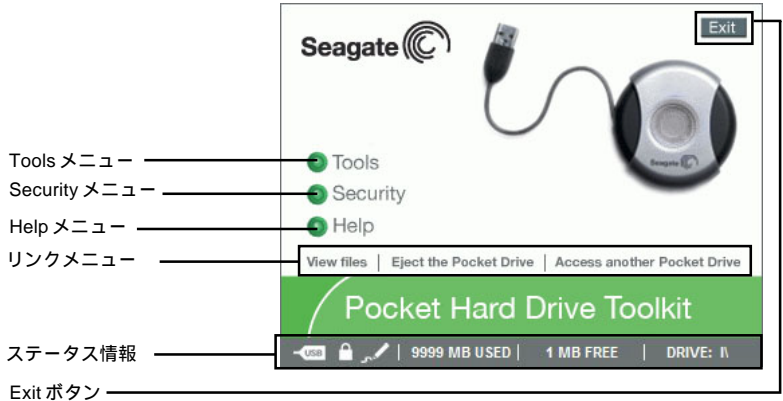
Windows XP、2000 で表示される起動画面



Windows Me、98 SE で表示される起動画面

Toolkitの使い方：Windows XP、2000

Windows XP、2000環境では、「スタート」-「(すべての)プログラム」-「Toolkit」と選択して、Toolkitを起動すると、以下のメインメニューが表示されます。



ソフトウェアの各機能を使用する際は、必ず本製品の「リムーバブルディスク」のアイコンを閉じておいてください。

Tools メニュー -

「Tools」メニューからは以下のオプションが実行可能です。

- パーティションの管理 (Manage Partition)
- 本製品のフォーマット (Format This Pocket Drive)
- 工場出荷時に戻す (Restore Factory Default)

これらのメニューの実行方法については、『「Toolsメニューから実行可能な機能」』をご参照ください。

Security メニュー -

「Security」メニューからは以下のオプションが実行可能です。

- Login (ログイン)
- Change Password (パスワードの変更)
- Write Protect On/Off (ドライブへの書き込み禁止/許可)

これらのメニューの実行方法については、『「Security」メニューから実行可能な機能』をご参照ください。

Help メニュー -

「Help」メニューからは以下のオプションが参照可能です。

- User's Manual (英語版 HTML パージョン)
- Toolkit Updates (Toolkitソフトウェアのアップデート)
- Seagate Support Website (シーゲート社のサポートウェブサイトへのアクセス)

これらのメニューの実行方法については、『「Help」メニューから参照可能な機能』をご参照ください。

リンクメニュー -

リンクメニュー内の各カテゴリをクリックすると、以下のような機能を実行可能です。

View files

このリンクをクリックすると、Windowsのエクスプローラが、本製品を選択した状態で起動します。

Eject the Pocket Drive







ポケット・ハードドライブをOS上からイジェクトします。このイジェクト機能は現在アクセスしているパーティションに対するソフトウェアイジェクトですので、OS上からはアクセス不能となりますが、USBバスパワーは供給されています。取り外しの際は、一定の手順でアンプラグ操作を行ってください。アンプラグ方法については、この後の「取り外しについて」をご参照ください。

Access another Pocket Drive

複数のポケット・ハードドライブが接続されている場合に、このリンクをクリックするとアクセスするポケット・ハードドライブを切り替えます。

ステータス情報

現在の接続状態を表示します。

記号	意味
	ポケット・ハードドライブが接続されています。
	ポケット・ハードドライブが接続されていません。
	ドライブ内にセキュリティエリアが設定されていますが、現在はパブリックエリアに接続しています。
	ドライブ内のセキュリティエリアに接続しています。
	ライトプロテクトは設定されていません。
	ライトプロテクトが設定されています。
xxxxMB USED	使用可能領域の内 xxx MBを使用しています。
xxxxMB FREE	使用可能領域の内 xxx MBが空き領域となっています。
DRIVE:	ドライブ を使用しています。

Exit ボタン

Toolkitを終了します。

「Tools」メニューから実行可能な機能

Toolsメニューを選択すると右の画面のように中央にサブメニューが表示されます。ここではサブメニューから実行可能なメニューについてご説明します。

Tools サブメニュー



Create Boot Disk (起動ディスクの作成)

- 本機能は、未サポートとなっております。

ディスクのパーティションを管理する方法 (Manage Partition)

パーティションの管理機能を使用すると、本製品内で、セキュリティをかけたゾーンと普通にアクセスのできるゾーンのパーティションのサイズを変更することができます。

セキュリティのかかったパーティションの作成について

本製品はToolkitを使用して2つのパーティションを設定することができます。1つはパブリック(誰でもアクセスができるエリア)となり、もうひとつがプライベート(パスワードによって保護されたエリア)となります。出荷時にはパブリックパーティションのみで、セキュリティのかかったゾーンはありません。セキュリティのかかったパーティションを使用するには、一定のスペースを「Secure Partition」として割り当てます。

パーティションのサイズを変更するには

警告

パーティションのサイズを変更するとドライブ内の全てのデータ・パーティションを消去します。大切なデータがドライブ内に残っている場合はパーティションのサイズを変更する前に別のドライブなどに必ずバックアップを取っておいてください。弊社では、データの消失については一切責任を負いかねます。

1. メインメニュー内で「Tools」ボタンをクリックします。
2. 「Manage Partition」ボタンをクリックします。「Manage Partition」画面が表示されます。

セキュリティをかける
パーティションのサイズ
を指定

このスライダーでもサイズ指定
が可能です

パスワードを入力
(2回)

「OK」をクリック

ここにパスワードのヒント
を入力しておくことも可能
です

The screenshot shows the 'MANAGE PARTITION' dialog box. It has a green header. Below the header, there are two sections: 'Secure Zone' and 'Public Zone'. The 'Secure Zone' has a text input field containing '40' and 'MB' next to it. The 'Public Zone' has a text input field containing '60' and 'MB' next to it. Between these two sections is an 'Apply' button. Below these sections is a horizontal slider bar with a red handle, ranging from 0% to 100%. At the bottom of the dialog, there are two columns of input fields: 'New Password' and 'Confirm Password' on the left, and 'New Hint' on the right. At the very bottom are 'OK' and 'Cancel' buttons.

3. 「Secure Zone」のフィールドでセキュリティをかけたパーティションに指定したいサイズ (MB)を指定するか、画面内のスライダーを使用してサイズを調整します。ドライブの残りのスペースが自動的にパブリックゾーンとなります。
4. また、ここでセキュリティをかけたパーティションに対して、「New Password」フィールドにパスワードを入力することによって、パスワードの指定または変更が行えます。(パスワードは半角英数字で最大8文字までとなります。また、特殊文字などは使用できない場合がありますのでご注意ください)
「New Hint」欄にパスワードを忘れたときのヒントをアルファベットで入力しておくことも可能です (半角英数字で40文字まで)。
5. 「OK」ボタンをクリックすると、パーティションの作成が始まります。作業が完了するまでしばらくお待ちください。

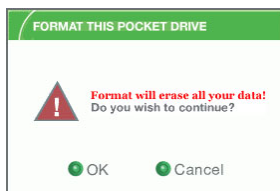
ドライブのフォーマット方法 (Format This Pocket Drive)

ドライブのフォーマット機能を使用すると、選択したパーティション(ゾーン)をフォーマットすることができます。

警告

フォーマットを実行すると選択したパーティション内のデータは全て消去されます。フォーマットを行いたいパーティション内に大切なデータが残っている場合は、フォーマットを実行する前に必ずバックアップを取っておいてください。弊社ではデータの消失に関しては一切責任を負いかねます。

1. メインメニュー内の「Tools」ボタンをクリックします。
2. 「Format This Pocket Drive」ボタンをクリックします。
3. 警告のメッセージが表示されますので、本製品内の現在選択されているパーティション内のフォーマットを実行する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



ドライブを出荷時設定に戻す方法 (Restore Factory Default)

この機能を使用すると、ドライブ内の全ての領域を出荷時状態に戻します。

警告

この機能を使用すると、ドライブ内の全てのデータは消去されます。ドライブ内に大切なデータが残っている場合は、この機能を実行する前に必ずバックアップを取っておいてください。弊社ではデータの消失に関しては一切責任を負いかねます。

1. メインメニュー内で「Tools」ボタンをクリックしてください。
2. 「Restore Factory Default」ボタンをクリックしてください。
3. 警告のメッセージが表示されますので、出荷時状態に戻す場合は「OK」ボタンをクリックします。

「Security」メニューから実行可能な機能

Securityメニューを選択すると右の画面のように中央にサブメニューが表示されます。ここではサブメニューから実行可能なメニューについてご説明します。

Security サブメニュー



ログインとログオフの方法 (Login)

ログイン機能を使用するとセキュリティで保護されたパーティションへアクセスができるようになります。

ログインするには

1. メインメニューで「Security」ボタンをクリックします。
2. 「Login」ボタンをクリックするとログイン画面が表示されます。
3. 「Password」の入力欄に設定したパスワードを入力します。(異なるパスワードを入力した場合、エラーメッセージが表示されます。)パスワード登録時にHintを登録しておいた場合、「Hint」ボタンをクリックすると、ご自身が設定したパスワードのヒントがアルファベットで表示されます。登録していない場合は表示されません。

ご注意

セキュリティで保護されたパーティションにログインすると、「Login」ボタンは「Logoff」ボタンに切り替わります。このパーティションからログオフする場合は「Logoff」ボタンをクリックします。

パブリックゾーンとセキュリティゾーンへ同時にアクセスすることはできません。

パブリックゾーンにアクセスするにはログオフしている状態、

セキュリティゾーンにアクセスするときにはログインしている状態、

と覚えておいてください。

また、アクセス先を切り替える場合には、必ず現在アクセスしているゾーン内のファイルやアプリケーションを閉じ、ウィンドウを閉じておいてください。

パスワードの変更

パスワードの変更機能を使用してセキュリティで保護されたゾーンへアクセスするためのパスワードを変更することができます。

1. メインメニューで「Security」ボタンをクリックします。
2. 「Change Password」ボタンをクリックします。パスワードの変更画面が表示されます。

The screenshot shows a 'CHANGE PASSWORD' dialog box with the following fields and buttons:

- Old Password:** A text input field with a red border, annotated with '現在設定しているパスワードを入力' (Enter the currently set password).
- Old Hint:** A button with a question mark icon, annotated with 'ここにパスワードのヒントを入力しておくことも可能です' (It is also possible to enter a password hint here).
- New Password:** A text input field with a red border, annotated with '新しいパスワードを入力 (2回)' (Enter the new password (2 times)).
- Confirm Password:** A text input field with a red border, annotated with '新しいパスワードを入力 (2回)' (Enter the new password (2 times)).
- OK:** A green button with a white circle, annotated with '「OK」をクリック' (Click 'OK').
- Cancel:** A green button with a white circle.

3. 「Old Password」入力欄に現在設定しているパスワードを入力します。(*パスワードを忘れた場合、「Hint」ボタンをクリックすると、ご自身が設定したパスワードのヒントがアルファベットで表示されます。設定していない場合は表示されません。)
4. 「New Password」の入力欄に新しいパスワード(半角英数字で8文字以内)を入力します。
5. 確認のため「Confirm」の入力欄に、新しいパスワードを再度入力します。
6. 必要に応じて、「New Hint」の入力欄に半角英数字最大40文字の範囲で、パスワードを忘れたときのためのヒントを入力しておきます。
7. 「OK」ボタンをクリックすると新しいパスワードが有効になります。

ドライブをライトプロテクトするには

ライトプロテクト機能は、選択したパーティションにあるデータが偶発的に消失してしまうことを防ぎます。この機能はフロッピーディスクや、MOメディアなどに搭載されている機能と同様の物です。ただし、フロッピーなどが物理的にライトプロテクトスイッチを搭載しているのに対して、本製品ではライトプロテクトを有効にするのにソフトウェアを使用します。



選択したパーティションにライトプロテクトを設定する手順

1. メインメニューで「Security」ボタンをクリックします。
2. 「Write Protect On/Off」ボタンをクリックします。

ライトプロテクトを解除してそのパーティションへの書き込みを許可するには再度「Write Protect On/Off」ボタンをクリックします。

セキュリティで保護されたパーティションについて

Pocket Driveはデフォルトの設定では、ドライブを接続すればどなたでも読み書きが可能なパブリックパーティションだけで全ての領域がフォーマットされています。

Toolkitアプリケーションを使用すれば、ドライブにライトプロテクトをかけることができます。Toolkitは、パーティションのタイプ（パブリックまたはセキュリティで保護されたゾーン）とライトプロテクトのON/OFFを検知して、それらのドライブの各設定の組み合わせを、固有のシステムトレイのアイコンで表示します。詳しくは「システムトレイのアイコンについて」のセクションをご参照ください。

「Help」メニューから参照可能な機能

Help メニューを選択すると右の画面のように中央にサブメニューが表示されます。ここではサブメニューから実行可能なメニューについてご説明します。

Help サブメニュー



英語版 HTML バージョンのユーザーズガイドの参照方法

Seagate 社のユーザーズマニュアル (HTML) を Web ブラウザで参照することができます。

参照方法

1. メインメニュー内で「Help」ボタンをクリックします。
2. 「User's Manual」ボタンをクリックすると英語版のユーザーズマニュアルが Web ブラウザ上で表示されます。

ソフトウェアのアップデートについて

最新のソフトウェアのアップデートについてはロジテック株式会社のホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) をご参照ください。

また、「Help」メニュー内で「Toolkit Update」をクリックすると Seagate 社のホームページ (英語) からソフトウェアのアップデートをすることが可能です。

Seagate社のホームページからのアップデートに関しては日本シーゲイト社サービスセンターへお問い合わせください。お問合せ先については「Toolkitに関するお問い合わせについて」をご参照ください。


サポートについて

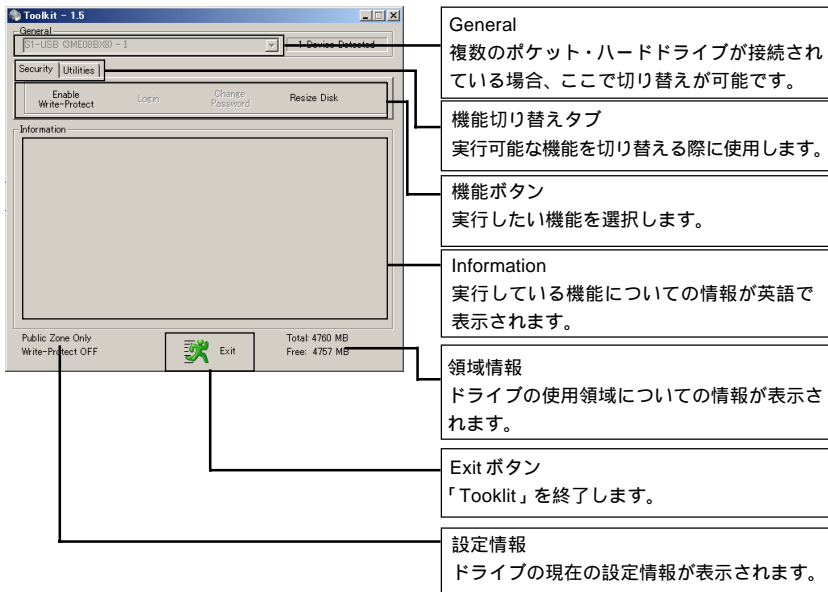
本製品のサポートについてはロジテック株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お問合せ先については本書巻末をご参照ください。

また、「Help」メニューから、「Seagate Support website」をクリックすると Seagate 社のホームページ (英語) が表示されます。ここからは、英語でのサポート情報が参照可能です。

Seagate社のホームページの内容については、日本シーゲイト社サービスセンターへお問い合わせください。お問合せ先については「Toolkitに関するお問い合わせについて」をご参照ください。

Toolkit の使い方 : Windows Me、98 Second Edition

Windows Me,98 Second Editionでは本製品のアイコンをダブルクリックして開き、ファイルの一覧の中から「Toolkit (exe)」ファイルをダブルクリックしてください。以下の画面が表示されます。また、タスクトレイに「Toolkit」のアイコン「」が常駐している場合は、このアイコンをダブルクリックしても「Toolkit」が起動します。



Toolikitで実行可能な機能は「Security」タブおよび、「Utilities」タブに分かれています。

「Security」タブからは

- ライトプロテクトの設定
- ログイン
- パスワードの変更
- ディスク内のセキュリティゾーンとパブリックゾーンの設定およびサイズ変更

の各機能が実行可能です。詳しくは『「Security」タブから実行可能な機能について』をご参照ください。

「Utilities」タブからは

- フォーマット
- 工場出荷時の状態に戻す

の各機能が実行可能です。詳しくは『「Utilities」タブから実行可能な機能』をご参照ください。

ソフトウェアの各機能を使用する際は、必ずポケット・ハードドライブの「リムーバブルディスク」のアイコンを閉じておいてください。

「Security」タブから実行可能な機能について

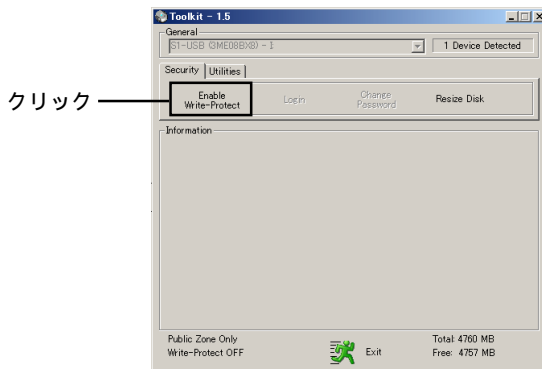
ここでは、「Security」タブから実行可能な各機能についてご説明いたします。「Security」タブからは、以下の機能が実行可能です。

- ライトプロテクトの設定 (Enable Write-Protect)
- ログイン/ログオフ (Login/Logoff)
- パスワードの変更 (Change Password)
- セキュリティゾーンの設定およびサイズ変更 (Resize Disk)

ライトプロテクトの設定

ライトプロテクト機能は、選択したパーティションにあるデータが偶発的に消失してしまうことを防ぎます。この機能はフロッピーディスクや、MOメディアなどに搭載されている物を同様の物です。ただし、フロッピーなどが物理的にライトプロテクトスイッチを搭載しているのに対して、本製品ではライトプロテクトを有効にするのにソフトウェアを使用します。

選択したパーティションにライトプロテクトを設定するには、



1. 「Security」タブ内の機能ボタンで「Enable Write-Protect」をクリックします。
2. 「Information」欄に「Media is now Locked」と表示されます。

ライトプロテクトを解除してそのパーティションへの書き込みを許可するには「Security」タブ内の機能ボタンで「Disable Write-Protect」をクリックします。

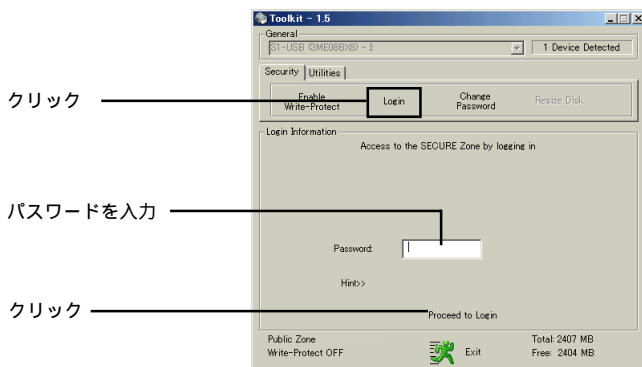
セキュリティで保護されたパーティションについて

Pocket Driveはデフォルトの設定では、ドライブを接続すればどなたでも読み書きが可能なパブリックパーティションだけで全ての領域がフォーマットされています。

Toolkitアプリケーションを使用すれば、ドライブにライトプロテクトをかけることができます。Toolkitは、パーティションのタイプ(パブリックまたはセキュリティで保護されたゾーン)とライトプロテクトのON/OFFを検知して、それらのドライブの各設定の組み合わせを、固有のシステムトレイのアイコンで表示します。詳しくは「システムトレイのアイコンについて」のセクションをご参照ください。

ログインとログオフについて

ディスク内にセキュリティゾーンを設定すると、そのゾーンへログイン・ログオフすることができます。



ログインするには、

1. 「Security」タブ内の機能ボタンで「Login」をクリックします。
2. 「Information」欄内の「Password」の入力欄に設定したパスワードを入力します。(異なるパスワードを入力した場合、エラーメッセージが表示されます。)パスワード登録時にHintを登録しておいた場合、「Hint」をクリックすると、ご自身が設定したパスワードのヒントがアルファベットで表示されます。登録していない場合は表示されません。
3. 「Proceed to Login」をクリックします。
4. 正しくログインすると「Information」欄に「Login to secure partition is completed」と表示されます。これで、マイコンピュータ上から、セキュリティで保護されたゾーンにアクセスできるようになります。

ご注意

セキュリティで保護されたパーティションにログインすると、「Log in」ボタンは「Log off」ボタンに切り替わります。このパーティションからログオフする場合は「Log off」ボタンをクリックします。

パブリックゾーンとセキュリティゾーンへ同時にアクセスすることはできません。

パブリックゾーンにアクセスするにはログオフしている状態、

セキュリティゾーンにアクセスするときにはログインしている状態、

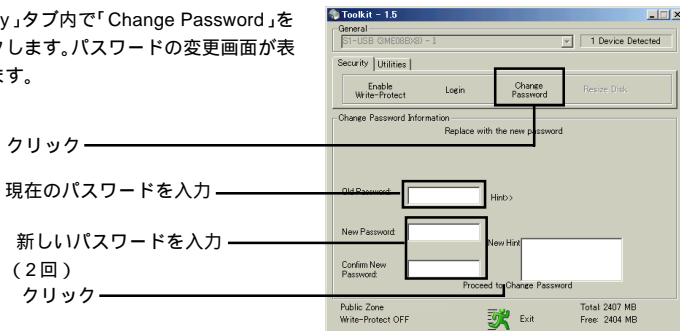
と覚えておいてください。

また、アクセス先を切り替える場合には、必ず現在アクセスしているゾーン内のファイルやアプリケーションを閉じ、ウィンドウを閉じておいてください。

パスワードの変更

パスワードの変更機能を使用してセキュリティで保護されたゾーンへアクセスするためのパスワードを変更することができます。

1. 「Security」タブ内で「Change Password」をクリックします。パスワードの変更画面が表示されます。



2. 「Old Password」入力欄に現在設定しているパスワードを入力します。(パスワードを忘れた場合、「Hint」ボタンをクリックすると、ご自身が設定したパスワードのヒントがアルファベットで表示されます。設定していない場合は表示されません。)
3. 「New Password」の入力欄に新しいパスワード(半角英数字で8文字以内)を入力します。
4. 確認のため「Confirm New Password」の入力欄に、新しいパスワードを再度入力します。
5. 必要に応じて、「New Hint」の入力欄に半角英数字最大40文字の範囲で、パスワードを忘れたときのヒントを入力しておきます。
6. 「Proceed to Change Password」をクリックすると新しいパスワードが有効になり「Information」欄に「Password is Changed」と表示されます。

セキュリティゾーンの設定およびサイズ変更 (Resize Disk)

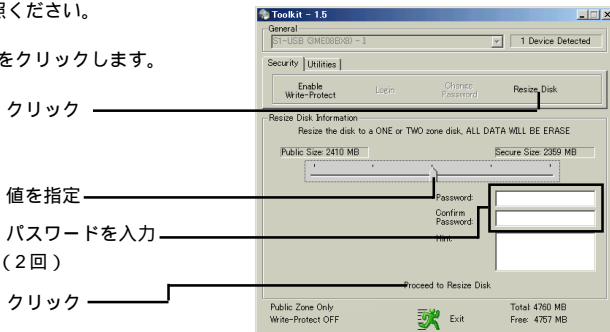
「Resize Disk」からは、セキュリティゾーンとパブリックゾーンの設定が可能です。

警告

各ゾーンのサイズを変更するとドライブ内の全てのデータ・パーティションを消去します。大切なデータがドライブ内に残っている場合はパーティションのサイズを変更する前に別のドライブなどに必ずバックアップを取っておいてください。弊社では、データの消失については一切責任を負いかねます。

設定方法は以下をご参照ください。

1. 「Resize Disk」をクリックします。



2. 「Resize Disk Information」欄が表示されますので、中央のスライダでパブリックゾーンとセキュリティゾーンの設定を行い、
3. 「Password」 「Confirm Password」欄にセキュリティゾーンにログインする際のパスワードを入力します。
「Hint」欄にパスワードを忘れたときのヒントをアルファベットで入力しておくことも可能です（半角英数字で40文字まで）。
4. 設定が終わったら「Proceed to Resize Disk」をクリックします。
5. 機能が実行されます。終了するまでしばらくお待ちください。終了すると「Information」欄に「Disk is resized」と表示されます。

「Utilities」タブから実行可能な機能について

「Utilities」タブからは以下の機能が実行可能です。

- フォーマット (Format)
- 工場出荷時の状態に戻す (Restore Factory Default)

ドライブのフォーマットについて (Format)

ドライブのフォーマット機能を使用すると、選択したパーティション (ゾーン) をフォーマットすることができます。

警告

フォーマットを実行すると選択したパーティション内のデータは全て消去されます。フォーマットを行いたいパーティション内に大切なデータが残っている場合は、フォーマットを実行する前に必ずバックアップを取っておいてください。弊社ではデータの消失に関しては一切責任を負いかねます。

1. 「Utilities」タブ内で、「Format」をクリックします。
2. 「Format Information」欄に警告のメッセージが表示されますので、本製品内の現在選択されているパーティション内のフォーマットを実行する場合は「Proceed to Format」をクリックしてください。
3. フォーマットが実行され、終了すると「Information」欄に「Format is completed」と表示されます。

起動ディスクの作成方法 (Create Boot Disk)

- 本機能は、未サポートとなっております。

ドライブを出荷時設定に戻す方法 (Restore Factory Default)

この機能を使用すると、ドライブ内の全ての領域を出荷時状態に戻します。




警告

この機能を使用すると、ドライブ内の全てのデータは消去されます。ドライブ内に大切なデータが残っている場合は、この機能を実行する前に必ずバックアップを取っておいてください。弊社ではデータの消失に関しては一切責任を負いかねます。

1. 「Utilities」タブ内で「Restore Factory Default」ボタンをクリックしてください。
2. 「Information」欄に警告のメッセージが表示されます。出荷時状態に戻す場合は「Proceed Restore Facktory Default」をクリックします。

システムトレイのアイコンについて

Toolkitをインストールすると、Windowsの画面右下のタスクトレイにToolkitのアイコンが追加されます。Toolkitのアイコンは、パーティションのタイプ（パブリックまたはセキュリティで保護されたゾーン）とライトプロテクトのON/OFFを検知して、それらのドライブの各設定の組み合わせを、固有のシステムトレイのアイコンで表示します。

アイコン	アクセスしているゾーン	ライトプロテクト設定
	パブリックゾーン	無効
	パブリックゾーン	有効
	セキュリティゾーン	無効
	セキュリティゾーン	有効
	本製品が接続されているにもかかわらず、Toolkitがドライブを検出していない場合、またはポケット・ハードドライブを接続していない場合、アイコンは青色で表示されます。	

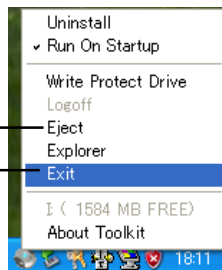
取り外しについて

本製品は次の手順で行ってください。

1. 本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認し、Toolkitが起動している場合は、タスクトレイ内のアイコンを右クリックして「Eject」を選択後、「Exit」を選択して終了させておいてください。

1. 「Eject」をクリックして、
2. 「Exit」をクリックします

Windows 98 Second Editionの場合は、ここで本製品を取り外してください。
それ以外のOSの場合は、以下の操作を行う必要があります。



2. タスクトレイ上のアンプラグのアイコンをクリックしてください。



3. 表示される次の項目をクリックしてください。

- ・ Windows XP の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (D:) を安全に取り外します」
- ・ Windows 2000 の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (D:) を停止します」
- ・ Windows Me の場合
「USB ディスク - ドライブ (D:) の停止」

Point ご注意

(D:) の部分は、ドライブ名が表示されますので、ご使用の環境により異なります。

4. 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、USB ケーブルを取り外してください。
 - ・ Windows 2000、Me の場合は「OK」ボタンをクリックしてから取り外してください。

故障かな？と思ったら



本製品を接続したが認識されない。



USB ケーブルが正しく接続されていますか？

パソコン側に正しく差し込まれているかを確認してください。



USB ハブ経由で接続していませんか？

パソコンの USB ポートに本製品だけを直接接続してお試しください。



ご使用のパソコンまたはUSBハブのUSBポートのバスパワー供給電力は規定条件 (+5V 500mA) を満たしていますか？

セルフパワーのハブなどでは本製品が使用できない場合があります。また、パソコンによっては、バッテリー駆動時にUSBバスの電源供給を行わない機種もあります。



特定のOSで認識されない場合、フォーマット形式がそのOSでは対応していない可能性があります。

本製品を再フォーマットした場合、フォーマット形式が、ご使用のOSにあった物であるかをご確認ください。

フォーマット形式 (ファイルシステム)	本製品の対応OSでの制限事項
NTFS	Windows XP、2000 で使用するためのフォーマット形式です。 Mac OS X 10.3 以降では読み込みのみサポートしています。 Windows Me、98、Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2、Mac OS X 10.0.4 ~ 10.2.8 環境では認識されません。
FAT 32	全てのOSで認識されます。(Mac OS X 10.1 ~ 10.1.5は未対応です)
HFS	Mac OS専用のフォーマット形式です。 Macintosh環境で、このフォーマット形式でフォーマットした場合、Windows環境では認識されなくなります。

付属の「Toolkit」を使用してWindows環境でご利用の場合は、FAT32のみ使用可能です。
また、この場合は、フォーマットは必ず「Toolkit」を使用して行ってください。

Q

Windows XP、2000 環境でセキュリティゾーンにアクセスできない。
Windows XP、2000 環境で「Toolkit」を使用できない。

A

管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。

ユーザー権限でログインした場合、パブリックゾーンしか認識されません。また、「Toolkit」の機能を使用することもできません。

セキュリティゾーンとパブリックゾーンを切り替えて使用する場合や、「Toolkit」の機能を使用する場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。

Q

スタンバイや休止状態から復帰できない。

A

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。

パソコンのスタンバイや休止状態の設定を OFF にしてご使用ください。

Q

本製品の物理フォーマットができない。

A

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット(通常のフォーマット)のみでご使用ください。

Q

データの転送速度が遅い。

A

接続先のポートを確認してください。

USB 1.1 ポートに接続されている場合、データの最大転送速度は USB Full-Speed (12Mbps : 理論値) までとなります。USB High-Speed (480Mbps : 理論値) でのデータ転送を行う場合は、USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

Information

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、サポート情報では、「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」等が、PDF 形式でダウンロード可能になってますので、ご活用ください。

ロジテック株式会社 ホームページアドレス

<http://www.logitec.co.jp>

仕様

機種名		LHD- PD5GU2	
記憶容量 *1		約 5 GB	
インターフェース		USB 2.0 High- Speed	
ディスク回転数		3600 rpm	
最大データ 転送速度 *2		480Mbps (High - Speed) 12Mbps (Full - Speed)	
コネクタ形状		USB シリーズ A *3	
環境条件 *4	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80 %
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	20% ~ 80 %
入力電圧		DC + 5V (USBポートより供給)	
消費電力		1.75 W	
外形寸法 直径 × 高さ		73 × 18.9 mm *5	
重量		63 g	
設置方向		水平	

*1 1GB=1,000,000,000 バイトとして計算しています。使用 OS やフォーマットの状態によって、表示される値が異なる場合があります。

*2 理論値。

*3 PC への接続用。ケーブルは本体直付け、巻き取り式ケーブル

*4 ただし、結露なきこと。

*5 本体のみ。

Toolkit に関するお問い合わせについて

Toolkit に関するお問い合わせはロジテック テクニカルサポートまたは日本シーゲイト社のサービスセンターにお問い合わせください。

日本シーゲイト社のサポート窓口

Tel: 0034-800-400554

Email: seagate_japan@teleservices.com.cn

月曜日から金曜日 午前 9 時 30 分より午後 6 時

ロジテック テクニカルサポートのお問合せ先については、本書巻末をご参照ください。

ユーザー登録のお願い

弊社ホームページよりユーザー登録が可能ですので、ご登録いただくことをおすすめいたします。

<http://www.logitec.co.jp/>

インターネットをご利用できない方は、お手数ですが弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。